

令和6年度 杏林大学社会科学学会事業活動報告

運営委員会

本年度本学会は、『杏林社会科学研究』第40巻の発行及び定例研究会の開催を行った。定例研究会における報告者及び題目は次の通りである。

第1回定例研究会

報告者：杏林大学総合政策学部教授 渡辺 剛

題目：台湾・頼清徳政権の船出 —就任演説を中心に—

開催日：令和6年6月19日（金）

第2回定例研究会

報告者：杏林大学総合政策学部准教授 島村 直幸

題目：「選挙の年」と2つの戦争

開催日：令和6年10月16日（水）

杏林社会科学研究所 第40巻 目次

第1号 (令和6年11月30日)

<論文>

- 軍需産業に対する会計規制とフランス会計標準化
～1939年に公表された一連のデクレの規定を中心として～ …… 内藤 高雄
- 持続可能な開発目標 (SDGs) への道程
— 国際政治の視点から …… 島村 直幸
- サービスリテラーの成長段階と顧客満足の源泉の変化 …… 加藤 拓

第2号 (令和7年3月31日)

<論文>

- 小売企業における直営店舗数と
フランチャイズ店舗数のバランスの現状
—日本のフードサービス企業のケーススタディ— …… 加藤 拓

<判例研究>

- 退職慰労金を減額する取締役会決議の適法性と会社・取締役の責任
最一小判令和6年7月8日 …… 伊藤 敦司